

事務事業名	少年スポーツ活動支援事業				担当	教育委員会 スポーツ振興課 指導係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-84-2811		
施策名	4	生涯スポーツ・レクリエーションの振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	真岡市補助金等交付規則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成18年度～）		
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	5. 保健体育費	1. 保健体育総務費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	社会体育活動として行う、少年スポーツ活動における大会参加に対する支援事業。郡大会以上の大会に参加する場合の費用の一部を助成する。 （交付率） 郡大会：交通費の5/10 県大会：交通費の6/10 関東・全国：交通費・宿泊費の6/10							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 28年度実績 郡大会以上の大会参加に対する交付金交付。 各スポーツクラブから交付申請書（大会実施要項、大会結果等）を提出してもらう。 交通費等を審査し、その一部を交付金で交付する。 郡大会出場参加 7件 県大会出場参加 8件 全国大会等参加 15件 合計 15件 29年度計画 前年度同様（各種目各種大会）	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア	郡大会以上参加件数		24	21	29	15	20
	イ	交付金額		626	887	872	608	800
	ウ							
	エ							
	オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 少年スポーツ選手及び少年スポーツクラブ	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア	大会参加費用		1,058	1,482	1,475	1,013	1,350
	イ	大会参加少年スポーツ選手数		375	253	339	344	350
	ウ	大会参加少年スポーツ団体数		24	21	29	15	30
	エ							
	オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 各種大会への参加を通し、少年スポーツ選手の技術向上と少年スポーツクラブの負担軽減を図る。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア	交付金額/大会参加費用		59.2	59.9	59.1	59.9	59.0
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 少年スポーツ選手の育成を図る。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア	スポーツを行っている少年の割合		77.3	81.4	82.5	82.6	83.0
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							
(2) 総事業費の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	626	887	872	608	800	
	事業費計(A)		千円	626	887	872	608	800
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	12	12	12	15	15
		人件費計(B)	千円	49	51	50	62	62
トータルコスト(A)+(B)		千円	675	938	922	670	862	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成18年度より、小学校運動部活動が社会体育へ移行したため社会体育課（現在のスポーツ振興課）が担当することになった。スポーツ振興課が担当する前は、教務課（現在の学校教育課）が担当しており、昭和62年度より、小・中学校部活動支援事業として、心身ともに健全な児童生徒の育成及び保護者の負担軽減を図るため、学校教育における文化・運動部活動を支援することとして開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	少年スポーツ選手の減少により、他地区との合同チームの編成を実施している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	支援の拡大の要望

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 心身共に健全な少年スポーツ選手の育成は、市の政策である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 社会体育活動として実施しているため妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 少年スポーツ選手のスポーツ振興が図られ、且つ、保護者の負担軽減が図られる。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 交付基準が決められており、保護者の負担軽減が図られる。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 少年スポーツ選手のスポーツ振興及び保護者の負担軽減が図られない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 類似事業はない。 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費は、必要最少限である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 交付事務のみで、必要最少限の人件費である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 保護者の負担もある。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							